

市民学芸員ノススメ

けんじ

市民学芸員 小山内 鏗爾

「むかし、富士見市にお城があったということをご存知ですか？」

難波田城だよりの愛読者にこんな質問をしたら、「今更、何をッ？」とお叱りを受けることでしょう。しかし、富士見市民 11 万人の中には、「エッ、本当？」「いつ頃？」「何処に？」「何というお殿様？」と、訝る方のほうが多いのではないのでしょうか。

かく申す私自身も、つい 3 年前までは「富士見市にお城があった」などとは思いませんでした。富士見市の歴史をもう少しよく知りたいと思い始めた頃、たまたま「広報ふじみ」で見つけた「第 6 期市民学芸員養成講座」を受講して、やっと分かった程度です。

全 8 回の「基礎講座」と各 4 回（難波田城&水子貝塚）の「専門講座」を受講し、平成 27 年 4 月 1 日付けで「富士見市立資料館市民学芸員」の委嘱状を頂きました。

難波田城資料館の市民学芸員の活動は、土、日、祝日の 11 時から 15 時まで、毎月 1~2 回自己申告した日に、ご希望の方の園内ガイドをすることが中心となります。

また、ちょこっと体験等のイベントや、市内の小中学生の体験授業をお手伝いすることもあります。

更に、毎年 6 月第 1 日曜日の難波田城公園まつりや、小学校の夏休みに合わせた古民家宿泊体験等の特別イベントにも、積極的に参加して盛り上げ役を担っています。

現在市民学芸員は総勢 60 名（難波田城 34 名、水子貝塚 32 名、内兼務 6 名）が活動していますが、活動歴 17 年の 1 期生を筆頭に多士済々の先輩諸兄に教えられて、私共 6 期生の活動も 2 年を経過しました。

さて富士見市のお殿様ですが、今から 800 年近く前の鎌倉時代、公家政権の回復を志していた後鳥羽上皇が、將軍実朝の死に乗じて執権北条義時追討の兵を挙げた承久の乱に、武蔵七党と言われる関東武士団の 1 つ村山党の金子小太郎高範が、幕府側として参戦し宇治川の合戦で戦死しました（吾妻鏡）。

おそらくその軍功により、金子高範の遺族に難波田郷が与えられ、この地に居館を構え、難波田姓を



ちょこっと体験の見本展示もお仕事です。

名乗っただろうということです。

それから約 320 年後、世は正に戦国時代の真つ只中、難波田善銀は扇谷上杉氏の重臣として、後北条氏との河越合戦で討ち死にし、難波田城は後北条氏の支城となり上田周防守が入城しました。

更に 50 年足らずで、後北条氏も豊臣秀吉によって滅ぼされ、難波田城は廃城となりました。

ちなみに、難波田一族はわずかの領地を与えられ、徳川幕府の旗本になったということです。

園内ガイドの最後に、私が忘れずにお尋ねする質問があります。

「富士見市に海があったということをご存知ですか？もしご存知なければ、水子貝塚公園にも、是非行ってみて下さい。」

富士見市が誇る 2 つの史跡公園と資料館を、もっともっと多くの皆様を知って頂きたいと念願し、大勢の「第 7 期市民学芸員」の誕生を、心からお待ち申し上げております。

※8 月から養成講座が始まります(4 面参照)



難波田城公園内標註(左)・水子貝塚公園遠景(右)

皆様のお越しをお待ちしています！

市民学芸員のページ *このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

難波田城 ちよっと拝見 みどころ紹介

古民家シリーズ⑨ 大澤 綾さんに聞くその四

『移築前の大澤家』

最後に、お宅が本公園に移築される前にどのような生活をしていかお聞きしました。

○式台(主玄関)やオクザシキはあまり使わなかったのですか。

「式台玄関、オクザシキは、お客様がいらつしやったときのほかは本
当に使うことは少なかったですね。父母や弟妹などはイマ、私たち夫
婦は離れを使うことが多かったですね。」

○改造したところは。

「お手伝いさんがいなくなった昭和四十年(1965)頃、オンナベ
ヤを改造して風呂を作りました。トイレも一つ増設して三つありまし
た。水洗化は女優の馬淵晴子さんが映画の撮影に見える前にされてい
ました。」

○屋根の葺き替えは。

「東大久保近辺のヤネヤさん(今もそう呼ぶ)に貰ってもらい、毎日
お風呂に入り食事をして帰って頂きました。本当に忙しかったです。」

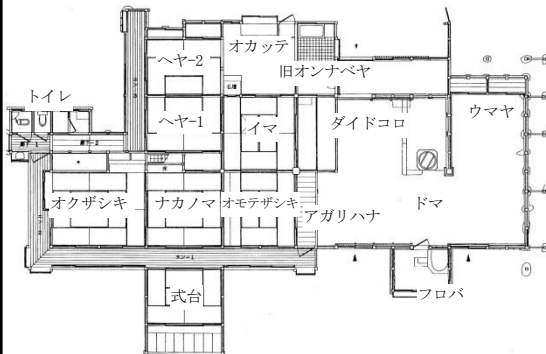
○その他特別な行事は。

「神棚には荒神様や恵比寿様などを
お祀りしました。正月にはオモテザ
シキに畳一枚くらいの棚をあげ、お
重に入れた団子をあげました。繭玉
団子もやりました。」

時代の変化と共に、改築を重ねて
きた様子がうかがえるお話でした。

「大澤綾さんに聞く」は今回で終わりです。
取材にご協力いただいた、大澤綾さんに深
く御礼申し上げます。

(文責 研修・交流班)



旧大澤家移築前間取り図

『富士見市立難波田城公園古民家復原工事報告書』より

おもしろ・なつかし体験⑤④
昔の着物を着てみよう

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベン
トの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

この体験は、資料館に寄贈していただいた「昔の
着物」の中より厳選した衣裳を、多くの皆様に直接
着てもらおうと、資料館と私の関係している「和道
文化着装協会」により毎年行っているものです。

この日も小さな子供さんからお母さんまでご自分
の好きなものを選んで着ていただき、園内を自由に
散策して楽しんでいただきました。子供さんの中
には、一度着た着物がお気に入りになり、脱ぎたが
ら泣き出してお母さんを困らせてしまう子や、「可愛
いね!」と声をかけられ、思わずポーズをとる男の
子などもいました。

やはり、日本人は「着物姿」が良く似合うと思
います。

日本の伝統衣装である着物を着ることをきっかけ
として、「お宮参り」「七五三」「結婚式」「還暦祝い」
などの古来のしきたりを大切に伝承し、後世に残す
必要性をぜひ理解していただきたいと思いました。
また親子、家族の絆を「帯」で結んでもらいたいと
感じながら、この日の仕事を清々しい心で終わらせ
ていただきました。(阿部重男)



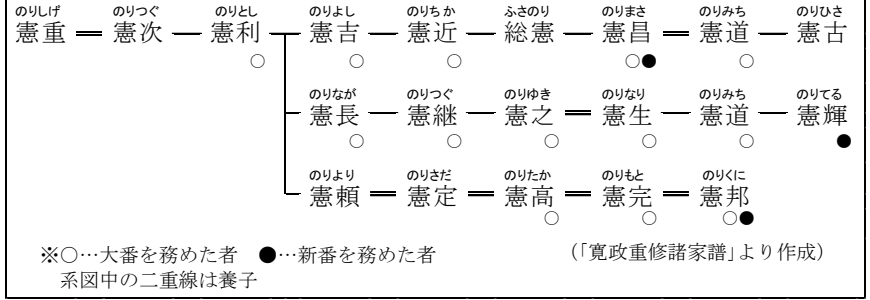
人の創ったもの★人の使ったもの

ぶ かん 武鑑にみる難波田氏

6 月 11 日(日)まで開催中の企画展「武鑑の世界—江戸時代の大名ガイドブック—」では、江戸時代に大名や幕府の役人などを掲載した名鑑である「武鑑」を展示しています。今回は武鑑に掲載されている難波田氏とその役職について紹介します。

このコーナーでは、地元に関する資料を紹介いたします。今では使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

図1 難波田氏系図



江戸時代の難波田氏

図1は幕府が編集した『寛政重修諸家譜』から作成した系図です。天文15年(1546)の川越合戦で難波田善銀とその子が討ち死にし、難波田の家は一度絶えました。善銀の孫にあたる憲次(善銀の娘の子)が難波田家を継ぎ、憲利が文禄元年(1592)から徳川家に仕えました。その後、憲吉が常陸国河内郡内(現・茨城県龍ヶ崎市ほか)に知行所400石、憲長が扶持米280俵、憲高が扶持米200俵を与えられました。難波田氏の多くは、江戸城の警備や将軍の護衛をする大番や新番を務めました。

みちぶぎょう 道奉行

江戸市中の道や橋・水路など維持管理を監督しました。一時期、上水の支配および近郊農村宅地化の管理、都市部屋敷地の管理も担いました。定員は当初2名でしたが、後に4名に増やされました。権六郎憲近が天和元年(1681)から貞享元年(1684)まで務めました(図4)。(山野健一)



図2 江戸鑑 寛文13年(1673)(国文学研究資料館蔵)

おおばんくみがしら 大番組頭

大番は天正年間(1573~92)に設置されたといわれ、寛永年間(1624~44)以後は12組に分かれました。各組は番頭1名、組頭4名、番士50名、与力10名、同心20名で構成されました。戦時には先鋒を務め、平時には江戸城や大坂城、二条城の警備にあたりました。善左衛門憲之は宝永6年(1709)に大番となりました。寛保元年(1741)から七番組の組頭を勤めたことから、武鑑に記載されています。

まくぶぎょう 幕奉行

幕府の陣幕を管理する役職で、定員2名でした。奉行1名に対し18名の同心と6名の中間が付属していました。善左衛門憲長が慶安3年(1650)から元禄6年(1693)まで務めました(図2)。

てんしゅばんがしら 天守番頭

天守番は江戸城天守を守る役職で、40名前後が任じられ、4名の組に編成されました。明暦3年(1657)の天守焼失後も職のみが残され、勤続年数の長い者や勤務態度の良好な者を褒賞する意味で起用されました。善左衛門憲継は宝永2年(1705)に天守番頭となり、享保5年(1720)まで務めました(図3)。

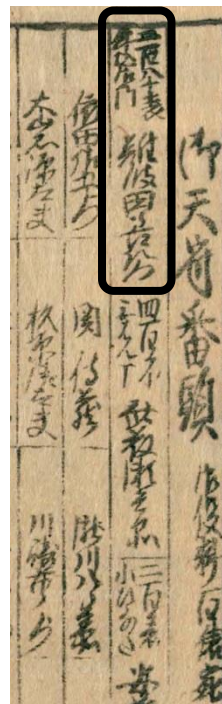


図3 享保武鑑 享保3年(1718)(国立国会図書館蔵)

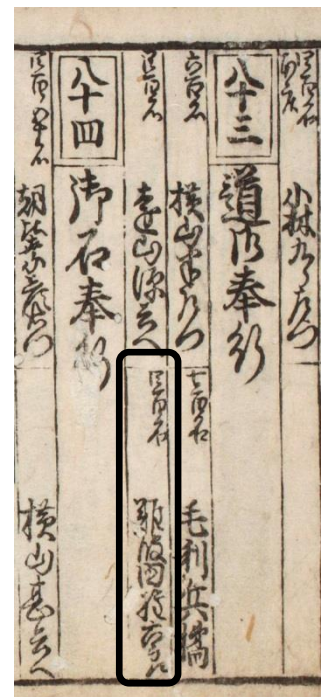


図4 江戸鑑 天和3年(1683)(国文学研究資料館蔵)

＊ ＊夏のイベント予定＊ ＊

富士見市の歴史を学ぼう ～第 7 期市民学芸員養成講座～

資料館のボランティアである市民学芸員。平成 30 年 4 月から活動する第 7 期市民学芸員の養成講座(基礎講座)を開催します。富士見市外の方も、また年齢を問わずどなたでも受講できます。基礎講座は全 8 回で、6 回以上の出席で修了です。基礎講座修了者は専門講座(4 回程度)を受講し、修了すると市民学芸員として登録することができます。

登録の予定はなくても、郷土の歴史や文化に興味のある方の参加もお待ちしています。

※博物館法で定める学芸員資格を取得できるものではありません。

	期 日	内 容
第 1 回	8 月 26 日(土)	富士見市のむかし①-旧石器～縄文時代-
第 2 回	9 月 9 日(土)	富士見市のむかし②-弥生～平安時代-
第 3 回	9 月 23 日(土)	富士見市のむかし③-鎌倉～戦国時代-
第 4 回	10 月 7 日(土)	富士見市のむかし④-江戸時代-
第 5 回	10 月 21 日(土)	富士見市のむかし⑤-明治～昭和時代-
第 6 回	11 月 11 日(土)	富士見市のむかし⑥-市内の文化遺産-
第 7 回	11 月 25 日(土)	体験事業の実践-難波田城資料館編-
第 8 回	12 月 9 日(土)	体験事業の実践-水子貝塚資料館編-

※時間は、いずれも午後 1 時 30 分～3 時 30 分

会 場/難波田城資料館講座室

定 員/50 名 参加費/無料

申込み/随時。お電話か直接

●竹かご教室

日 時/6 月 18 日(日) 午前 9 時 30 分～午後 4 時

定 員/12 名(中学生以上、申込順、初参加者優先)

参加費/1000 円(材料代)

指 導/資料館友の会竹かご部会

申込み/6 月 1 日(木)から 8 日(木)。お電話で

●じゃがいも掘り

日 時/6 月 18 日(日) 午前 10 時～正午

定 員/30 組(申込順) 参加費/1 組 1000 円

主 催/難波田城公園活用推進協議会

申込み/6 月 3 日(土)からお電話で

●ゆかた着付け教室

日 時/6 月 24 日(土) 午前 10 時～正午

定 員/15 名(中学生以上、申込順)

参加費/無料 指 導/和道文化着装協会

申込み/随時。お電話で

●さきおり教室

日 時/①7 月 8 日(土) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

②7 月 9, 11, 12, 14 日のいずれかの日 午前 10 時～午後

3 時(うち 2 時間)③7 月 15 日(土) 午前 10～12 時

定 員/8 人(原則全 3 回参加可能な方、申込順)

材料代/800 円 指 導/ふじみ手織りの会

申込み/随時。お電話で

●ふるさと体験「藍の生葉染め」

日 時/7 月 29 日(土) 午前 9 時 30 分～正午

※雨天の場合は 30 日(日)に延期

定 員/10 人(申込順、初参加者優先)

材料代/2000 円 指 導/河野悦子氏(染色愛好家)

申込み/7 月 1 日(土)から 5 日(水)。お電話で

●糸つむぎ体験

日 時/7 月 27 日(木)、8 月 3 日(木)、10 日(木)

午前 10 時～正午、午後 1 時～3 時

内 容/糸車で綿花(ワタ)から木綿糸をつむぐ体験

対 象/子ども～大人 参加費/無料

指 導/資料館友の会木綿部会

申込み/時間内に直接ご来場ください。

●夏休み古民家宿泊体験

日 時/8 月 5 日(土)午後 1 時～6 日(日)午後 2 時

内 容/竹細工(コップや箸)、手打ちうどん作り、

ごえもん風呂、七輪で焼き魚など

定 員/16 人(市内在住の小学 4～6 年生)

参加費/1500 円(材料費・食費)

申込み方法/広報 7 月号をご覧ください。

●子ども裁縫教室

日 時/8 月 2 日(水) 午前 10 時～午後 2 時

定 員/15 人(小学生～中学生、申込順)

参加費/200 円(材料代) 指 導/みらくの会

申込み方法/広報 7 月号をご覧ください。

●早朝の蓮が見学できます

蓮の見ごろにあわせ 6 月 10 日から 7 月 17 日の間、土・日・祝日は、午前 6 時に開園します。なお、資料館や古民家は通常どおり午前 9 時に開きます。

●ちよっくろ市(難波田城公園活用推進協議会主催)

6 月 18 日 ふかしいも 7 月 23 日 流しそうめん

8 月はお休み

時間 午前 11 時～売切れ次第終了

※各イベントの詳細は、広報ふじみやポスター、チラシ、公式サイトなどをご覧ください。



編集・発行/富士見市立難波田城資料館

難波田城
FUJIMI MUNICIPAL MUSEUM

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1 TEL. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665
富士見市役所公式ホームページ <http://www.city.fujimi.saitama.jp>

◆資料館休館日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間/午前 9 時～午後 5 時
◇公園休園日/なし 開園時間/午前 9 時～午後 6 時(4 月～9 月) 午前 9 時～午後 5 時(10 月～3 月)